

OB・OG インタビュー



藤岡香穂里さん

総合科学科令和3年3月卒業 社会探究領域

社会フィールド研究授業科目群所属

Q どうして総合科学部を選んだのですか。

A 高校生の頃、私はドイツの環境政策に関心を持っており、人と自然の関係について学びたいと考えていました。私は当時文系コースに所属していましたが、将来仕事をすることを想像したとき、生物学や化学といったいわゆる理系科目の知識の必要性を感じ、文理の垣根無く学べる総合科学部のカリキュラムを魅力的に感じました。

Q 総合科学部ではどのような勉強をしてきましたか?

A 大学に入学してからは、環境というキーワード を手がかりとして、自然・社会探究領域の科目を 中心にしながら、人間探究領域の授業も受講す る中で、宗教や文学、美学といった、それまで触 れることの無かった学問にも関心が広がっていきました。また、在学中に取り組んだこととして、家の近くで畑を借りたり、長期休みには遠出をして、あちこちの農家に短期滞在させてもらったりすることを通じて、自分なりのフィールドワークを楽しんでいました。

A フィールドワークを進めている内に、私の関心は農業自体というよりむしろ、農家の人がどんな生活をしているのか、彼らがどのような考えを持っているのかというところにあると思うようになり、領域選択では社会探究領域に進むことにしました。いつか海外の暮らしも見てみたいと思っていたところ、ブラジルへの留学を体験された先輩から、ブラジルで日本人移民が農業で活躍したという話を聞いて興味を持ったことをきっかけに、3年時には農業研修に行きました。ブラジル各地の日系農家を周り、農作業を手伝わせてもらいながら過ごした3ケ月間の経験は、後に卒業論文を書くことの動機となっています。

Q 卒業論文ではどのようなところが大変でしたか。また、研究ではどのような創意工夫をしましたか。

▲ ブラジル滞在中、移民一世の方から開拓当時のお話を伺う機会が頻繁にありましたが、それを何度聞いても現実味がなく、私は自分の想像力の限界を突きつけられたように感じていました。それは私の経験していない過去の話なので当然なのかもしれませんが、わからないなりに、残りの一年をかけて考えることによって、ブラジルで私が伺ったお話は別の意味を持つようになるのではないかと考えました。コロナウィルスの流行

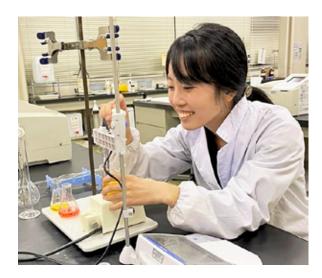
により、卒業研究のために、現地に行って調査をすることは叶いませんでしたが、インターネットを介して、ブラジルで知り合った方々の力をお借りしながら、ブラジル日本人移民の文芸作品の考察を行いました。移民史、歴史、文学など、複数の視点を組み合わせながら、日本からブラジルに渡った移民たちが見たもの、考えたことを想像して卒業論文を書いたことは、これまでの総合科学部での学びを一つの線に繋げる試みだったように思います。

Q 4 年間を振り返っての感想、今後の進路につい て教えてください。

A 総合科学部は皆がそれぞれに授業を組み立てるので、同じ学部でも会うことが無い人は大勢います。話をしてみると全然違うことに関心を持っていそうなのに、よく授業がかぶる人もいます。それぞれの関心を一つの学問で説明することは難しく、これは社会で起こっていることが文系理系の枠組みで分けることができないことと似ているのかもしれません。私は入学当初から、自然、共生、環境といった言葉に惹かれていましたが、多様な分野間に自分なりに関連性を見出すことで、次第に自分の感じている「おもしろさ」を、より抽象的な次元で捉えるようになりました。

私は今年総合科学部を卒業し、春からは林業の会社で働きます。この選択は、総合科学部を 志望した当時と同じ方向を向いているように思い ます。

今一度言葉にしてみると、今後も引き続き、私は人と自然の関係について考えていくのだと思います。複雑な関係性の中で、自分がどう変化し、「人」「自然」という言葉をどのように表現していくのか、楽しみながら学び続けていきたいと思います。



難波楓さん

総合生命科学研究科(修士課程 | 年)

♥ どうして総合科学部を選んだのですか?

▲ 学問の重なる領域の勉強がしたかったからです。理科、特に生物が好きだったのですが、社会系の勉強もしたいと考えていて、理学部に進学して研究のみに打ち込むのは違うと考えていた時に、担任が勧めてくれました。いわゆる総合系の学部は最近増えてきていますが、その中でも歴史があること、さらに理系の研究を本当にしっかりしていることが決め手でした。オープンキャンパスの説明、対応などの印象がとても良かったとことも理由の一つです。

Q 総合科学部ではどのような勉強をしてきましたか?

▲ 私は自然・人間・社会の各探究領域から関心のある科目をできるだけたくさん勉強したいと思っていました。積み立て系の勉強となる自然を専門にして授業を組めば、他の授業も受けやすいと考え、生命科学を選択しました。生命科学授業科目群は大変という話も聞きますが、そこまで勉強量が多い訳でもなく、先生の手厚いサポートの下、重要なことはしっかり勉強できる良い環境でした。自然環境の授業も多く選択し、特に実習は全部参加しました。山登りして放射線量を計測し

たり、海のイオン濃度を図りながら、教授の話を聞くのは本当に良い経験でした。数理情報科目群の「情報統計学」では、統計の理論を理解することができて、卒論を書く上で非常に参考になりました。社会探究領域の「英語圏社会研究」は、ヨーロッパの歴史を海洋史の視点から勉強することで歴史の幅広い知識が得られました。総科でしか勉強できなかった授業だったと思います。同じ社会探究領域の「環境と平和論」では、新自由主義と科学の関係が複雑であることを学び、新たな視点を取り入れるきっかけにもなりました。人間探究領域の心理学の授業は取らなかったのですが、今の研究に通じる所が多くて、履修すれば良かったと少し後悔しています。

A 春の START プログラムでベトナム留学を決め た際、そのモチベーションとなったのが、平和科 目「国際政治と地球環境から見る平和」の授業で、 ベトナム戦争の勉強をしたことです。ベトナム地 元の解放戦線の隠れ場所となるジャングルを枯 らすために使用した枯葉剤が、人体に深刻な後 遺症をもたらしたこと、さらにその後遺症について、 米国の兵士には補償があったが、地元のベトナ ム人には補償が無かったということに関心を持ち ました。進歩する科学技術と、それが引き起こす 予想外な人体への影響、そして国際的な情勢、 経済問題などが引き起こす社会的な影響など、 ひとつの問題に色々な学問が絡んでいることを 初めて感じた事例でした。それから環境化学物 質に興味を持ち、2年の夏休みに環境分析を行う 会社で1か月のインターンシップに参加しました。 そこでは工場で発生する気体を収集、分析し、有 害物質の種類、濃度を調査する仕事の一端に関 わらせて頂きました。実際に環境分析に使われ ている機器を使用し、分析科学に関する実用的 な知識が得られました。また、3年からは科学コミ ュニケーター養成特定プログラムを履修しました。 このプログラムは科学者と一般市民を繋ぐ役割 をする科学コミュニケーターを養成するもので、そ

の過程でサイエンスカフェという、研究者を招い て一般市民との交流の場を設けるイベントを開催 しました。この経験の中で、科学者と普通の人の 間に大きな意識の差があること、政治家、農家、 外国人、医者など立場の違いによって受け取り 方や考え方が異なるということを認識しました。そ れ以降、進歩する科学に対して、それを受け入れ る社会の多様性を意識するようになりました。こ のような経験を踏まえて、私は卒業研究では環 境化学物質として懸念される、ネオニコチノイド系 農薬を取り上げることを決めました。この農薬は 比較的最近開発されたもので、今世界的に最も 使用されており、殺虫効果も非常に強いものです。 また、この農薬は昆虫にのみ毒性を示し、ヒトに は安全だと言われてきました。しかし、近年の研 究では、脊椎動物の魚類、爬虫類への影響が示 され、ヒトにも発達期の脳への影響が懸念されて います。このような背景がある中で、EUではネオ ニコチノイドの規制が進行する一方で、日本では 逆に規制緩和がなされているという状況がありま す。このような世界的に規制の矛盾が生じること は非常に大きな問題だと考え、この問題を解決 するための科学的なアプローチとして、哺乳類で あるマウスを用いて、ネオニコチノイドの発達期 神経影響を調査するに至りました。

▲ 4 年生の 11 月まで所属するラクロス部でリーグ戦があったので、実験スケジュールを組むのは工夫しました。リーグ戦が終わるまでは、時間はかかるが融通の利く個体レベルでの行動試験をメインに進め、リーグ戦が終わった後は細胞レベルでの病理評価や、分子レベルでの解析等、コンスタントに実験を行うよう計画を立てました。また、論文を構成する際は、発表をした時に、各国で矛盾する規制の現状、自閉症等のリスクとの関連といった社会的意義が分かりやすくなるようにと心がけていました。その他も、農薬を扱う上でそれに関する他の学問への広がり、例えば植物への浸透性や世界的なシェアなどは確認する

ようにしていました。

↓ 大学院に進学してからは、どのような研究を進めていきますか? また将来の展望について聞かせてください。

▲ 今後はより詳細なメカニズムの解析を行いたいと考えています。分子レベルでの影響はまだ可能性の段階なので、タンパク質の定量などを行って、関連因子の同定を行いたいと思っています。また、電気生理的な手法を用いて神経回路への影響も調べる予定です。

将来については未定ですが、科学分野と社会 分野を結ぶ人材になりたいと思っています。昨今 のコロナ禍でもそんな人材の必要性を感じました。 大学院では高度な科学的知識、技術の取得と共 に、社会的関心の拡大に努めていきたいです。



片山春奈さん

大学院先進理工系科学研究科 (博士課程 | 年)

Q 大学入学に際して、どうして総合科学部を選ん だのですか? ▲ 私は、小学校から学ぶことが好きで、将来は教師になりたいと思っていました。教師である母の存在が大きく影響していたと思います。しかし、高校生になってから、将来を考えたときに、他にもたくさん職業があり、本当に教師になりたいのかわからなくなってしまいました。そのため、教育学部ではなく、教員免許が取得できる学部を受験することを決意しました。教員免許を取得できる学部の中でも、学科やコースを指定して受験する必要があり、どの学部のどの学科を受験すべきかとても悩みました。まだ、自分の興味がどこにあるかはっきりしない中で、一つを選択してしまうと、他の可能性を無くしてしまう気がしてとても怖かったからです。

そんな時、広島大学の総合科学部を知りました。1年間学問の体系を学んだあと、2 年生で、専門領域を決めることができる総合科学部がとても魅力的に思えました。また、主となる授業科目群で「深く」専門を学びつつ、自分の興味に合わせて、「広く」自分だけの授業をカスタマイズできることや、それによって多角的な視点を身につけられるということも魅力的でした。まだ、高校の教員にも興味があったので、高校の教員免許を取得できるという点も大きな要因となりました。(最終的には、数学と理科の二つの高校教員免許を取得しました。)

ℚ 総合科学部ではどのような勉強をしてきました か?

▲ オリエンテーションで指導のあった「広く深く学ぶ」ことを強く意識して勉強に取り組みました。総合科学部では、必修科目が少なく自由選択授業が多いため、自由度がある反面、何か軸を決めておかないと「広く浅く」学ぶことになってしまいます。そうならないように注意するためには受講計画を立てることが一番大切と考え、自分の学びたい学問を決めること、教員免許を取得すること、英語で議論できるようになることという三つの目標を定めて授業をカスタマイズしていきました。

もちろん、自分の専門を最終的には決めるので、全てを深く学ぶことは難しいことだと思います。しかし、「狭く」深い学びになってしまい、自分の分野のことだけを勉強するようになると、総合科学部にいる意味がなくなってしまうと思ったので、意識は常に「広く深く」学ぶつもりで取り組みました。実際にそれができたかはわかりませんが、自分の分野だけでなく、他の分野にも興味を持ち、学ぶことで、結果として、自分の分野の学びや自分のスキルアップに繋がったと思います。

具体的には、1年生では、数学や物理、化学な どの自然科学分野の自分の興味を探れるような 講義を受講し、それぞれの学問体系を学びまし た。入学当初より自然探究領域に進むことは決 めていましたが、どの授業科目群に所属するか を決めていなかったからです。結果として、物理 により魅力を感じ、物性授業科目群に所属するこ とを決めました。2 年生では、物理や数学の専門 科目を中心に授業を受講しました。その他、心理 学や社会学など様々な授業を受講しました。3 年 生では、先輩の自主ゼミに参加し、基礎学力の 向上と物理学の最前線の知識を収集し、3 年生 後期の研究室配属に臨みました。研究室では物 理学の基礎を総点検しつつ、特別研究のテーマ 設定に取り組みました。4 年生では、それを具体 化しながら、6 月には、教育実習(数学)を行いま した。そこでは、人前で話す度胸や、相手に分か っていただけるように伝える力を身につけつける ことができたのではないかと思っています。7月に は、シンガポールで開催された国際会議で初め て発表しました。もともと、私は人前で話すことが 得意ではありませんでしたが、教育実習での経 験が役に立ったのではないかと思います。不安と 緊張の中、最後までやり遂げることができたこと は、その後の自信に繋がりました。学部生にこの ような機会を与えてくださった指導教員に感謝し ております。

また、そこでは、初心の英語で議論できるようになりたいと思って勉強してきたことが役に立ちました。1 年生の 3 月には、START プログラムに参加し、オーストラリアに 2 週間ホームステイしました。残念ながら、なかなかうまく英語でコミュニ

ケーションをとることができませんでした。しかし、 英語で話せるようになりたいという気持ちが高ま り、その後の英語学習のモチベーションとなりまし た。おかげで、英語論文も出版することができま した。

以上、当初設定した三つの目標によって、総合 科学部を最大限活用した学びができたのではないかと思います。

▲ 卒業論文のテーマは、「超伝導量子干渉計を 用いた人エニューラルネットワークの理論的研究」 です。人エニューラルネットワークは、生物の脳 神経系を模倣して作られた人工知能を支える基 盤要素技術です。この研究テーマは、心理学の 授業で動物の「学習」について学び、動物ではな い人工知能がどのように「学習」するのかに興味 を持ったことがきっかけです。既存の学問分野だ けでは解決しきれない学際的問題であり、総合 科学部ならではの研究と考え、このテーマを設定 しました。

■ 物理学の基礎勉強を引き続き行いながら、数値シミュレーションの手法(プログラミング)を習得しました。学部の時よりも授業数は減り、研究に費やす時間が長くなりました。論文執筆や、学会発表などが楽しい毎日でした。

授業については、物理以外に情報や、心理学に関する授業や、理科の教員免許取得のための授業も受講しました。また、総合科学研究科の必修科目としてコア科目を受講し、他分野の学生とグループ学習を行いました。他分野の人とディスカッションをすることにより、様々な視点や考え方があることが学べました。

また、TA(ティーチング・アシスタント)として、授業で下級生と関わることによって、自分の理解が浅い部分や、説明がうまくできない部分を知ることができました。そこを補強していきました。教えることにより、自分の学習にもつながることを実感することができました。

修士論文ではどのようなところが大変でしたか?また研究では、どのような創意工夫をしていますか?

▲ 卒業論文では、人工ニューラルネットワークの 研究を行い、博士課程前期 1 年生では、その延 長線上にある量子ウォーク(量子の世界での酔 歩)に関わる研究を行いました。しかし、修士論 文では、これまでの研究とは異なる「ジョセフソン 伝送線路を用いた擬似的ブラックホールの理論 的研究」というテーマで研究を行いました。一番 大変だったのは、すでに論文も出版された量子 ウォークの研究から大きくテーマを変えたことで す。これまでとテーマを変えたことによって、それ を研究成果へと結びつけることができるかどうか が不安でしたが、好奇心がそれを上回りました。 本研究テーマは、実際のブラックホールでは観測 することができないホーキング輻射を、実験室系 で擬似的ブラックホールを考えることで検証を行 うものです。もっと簡単に言うと、「電気回路のな かに宇宙を創生する」というものです。この研究 は、一般相対性理論と量子力学の統一に向けた 理論構築に大きく貢献すると同時に、「時空と情 報の等価性」という物理学の根幹を理解するため の舞台を提供します。物理学の根幹を解明した いという強い気持ちから、成果が出るか不安もあ りましたが、本研究を立ち上げました。物理学も 細分化され、それぞれが深化しています。本研究 は、物理学における融合研究で、物性物理学の 立場からこれまでの宇宙物理学に切り込んだ狭 い意味での越境科学です。そして、そこで得られ た知見は、物性物理学にもフィードバックされ、総 合科学になるのではと思っています。研究テーマ を大きく変えているように思えるかもしれません

が、その背景には「量子力学」という大きな基盤 をあり、私はそれを手がかりに研究しているつも りです。

Q 今後、どのような研究を進めていきますか?また将来の展望について聞かせてください。

▲ 博士課程後期において、修士論文で行っていた擬似的ブラックホールの研究を発展させ、擬似的ブラックホールを用いて、ホーキング輻射を増幅するレーザーの理論を構築したいと考えています。

今後は、自然の真相に迫る新しい量子現象の 探索と理解を進め、人類の未来を切り拓く研究を 行う理論物理学研究者になりたいです。先人たち が築き上げた知見に敬意を払いながらも、その 既成概念に囚われることなく多角的観点から物 事を洞察でき、決して机上の空論に終わらせるこ となく、実験結果に真摯に耳を傾けられる研究者 になりたいです。そのためにも、好奇心を忘れず、 自分の専門分野に対して多くの知識や技能を身 につけながらも、一つの分野に留まらず、幅広い 物理分野を学び、知識や物理的な考え方や、手 法を習得したいと思います。そうすることで、量子 力学の根本問題に対して立ち向かうことができ、 新しい量子現象の探索や理解を進めることがで きると考えています。

ℚ 後輩や、入学してくる新入生に学生達にメッセ ージをお願いします。

▲ 今やるべきことを一生懸命行うことで、きっとやりたいことを見つけられると思います。私は、入学した時は、何も決まっておらず、将来に対する不安が常にありました。しかし、今やるべきことを一生懸命やっていると、どんな経験も自分の糧になるということを実感しました。総合科学部では、新しい学問や、他分野の友達、素晴らしい先生方に出会うことができます。総合科学部での生活を満喫して欲しいです。



留学体験記





国際共創学科 3 年生 2021 年度 HUSA プログラムに参加 1 月から 5 か月間オンラインでフィンランドへ留学

●なぜ留学先にフィンランドを選んだのですか?

▲ 社会福祉や政治に興味があったからです。高校生の時から日本の社会問題に興味があり、自殺率やブラック企業、過労死の問題に関心があって、なぜこんな問題があるのだろうと思っていました。調べていると、フィンランドが、国連が出している世界一幸せな国ランキングで一位だと知って、何がその要因なのか気になって、実際に自分で体感してみたいと思うようになりました。

■.自分に合った国や都市の選び方を教えてください。

▲ 文化や国民性、自分が何を大切にするか、価値観なども大事ですが、それは個人によって合う、合わない (例えば食事、御飯が合わないとストレスになる)があるので、実際にその国に行ってみないと分からないと は思います。自分の価値観に合う国を本やインターネットで調べてもいいですが、発信者側のフィルターがかかっていると思うので、注意が必要だと思います。

Q.これまでの海外経験は?

■ アメリカで生まれ 4 歳までミシガン州に住んでいました。幼かったので覚えていることはありません。これまでは高校の語学研修カナダへ約 10 日間、高校の修学旅行でドイツへ約 10 日間、広島大学の START プログラムで台湾へ約 2 週間行きました。

※START プログラムとは海外渡航経験の少ない 1 年生 に、海外協定大学での授業や生活を体験させることを通じ て国際交流や長期留学への関心を高めるきっかけを提供 することを目的としたプログラムです。

Q.オンライン留学の内容、メリット・デメリットを教えてください。

■ 期間は、2021年の1月4日のオリエンテーションの日から、今週(2021年5月16日から22日)で終わり、授業は5コースとりました。(異文化コミュニケーション、フィンランドの歴史と社会、倫理科目が2個、心理学)しかし、実際にオンライン授業で参加したのは異文化コミュニケーションとフィンランドの歴史と社会の2つでした。さらに、Individual study というものがあって、これは授業がなく、課題を自分のペースで行って、テストやレポートを提出するというものもありました。

メリットは、お金がかからないところと、煩わしさが軽減されるところで、具体的にはパスポートやビザといった手続きがいらないところです。

デメリットは2つあって、1つ目は留学感がないところで、オンライン留学は単に授業を受けるだけなので、授業外にほかの生徒とコミュニケーションをとることや、交流することもないし、また現地の人の生活もわからないですね。広大のオンライン授業と変わりないといっても過言ではないと思います。2つ目は時差の問題で、フィンランドだと時差が7h、サマータイムだと6hでそうでもないのですが、アメリカだと深夜1時とかに授業を受ける

ことにもなり、それによって、生活リズムが乱れてしま**う** こともあると思います。

●.フィンランドにオンライン留学して、感じた日本との違いを教えてください。

▲ オリエンテーション時、先生のオフィスアワーがゆる く、また連絡が遅いことから、働くことの価値観の違いと マイペースな文化を感じました。また、ディスカッション が多く、全ての授業でありました。歴史の授業は約 20 分、コミュニケーションの授業は約 45% がディスカッションでした一方通行ではなく、双方向のコミュニケーショ ンが先生と生徒の間で行われていることを実感しました。

■.フィンランドで英語のなまりはありましたか?

▲ 結構癖はありました。R 発音が巻き舌です。でも何とかわかるかなってレベルです。完璧主義をやめることが大事だと思いました。オリエンテーションの時に、突然自分以外の 3 人ともヨーロッパ人のグループに分けられて、すごく緊張して、ほとんどしゃべれずすごく落ち込みました。でも、下手くそでも通じるので、とりあえず自分の期待値を下げて、アウトプットしながら完成度を上げていくほうが絶対いいなと思いましたね。直接留学していても通った道だと思うので、オンライン留学特有のことではないです。

■.TOEIC や IELTS などの資格をとって留学したのですか?アドバイスはありますか?

■ 留学のために IELTS の試験を受けました。印象的だったのはスピーキングのテストで、すごく無機質な会話をします。何回も「Why?」って聞き返されて、制限時間になったら終了されます。結構へこむけど、そういうものなのだという心構えを事前にしておけばいいと思います。

Q.IGS の3つのフィールドと留学先のつながりはありますか?

■ 観光と文化です。マイノリティや福祉を研究されている河本尚枝先生の分野に興味があってフィンランドを選びました。フィンランドではマイノリティと倫理学の授業を2つとりました。その2つの授業では社会学で出てくる概念や理論を学んだので関係はあったと思います。

●.後輩たちにメッセージをお願いします。

■ このご時世なのでいつから直接留学できるのかは分からないけれど、可能性があるのならできるだけ渡航して留学をしてもらいたいと思います。やはり、留学は授業以外のところに価値があると思うので、ぜひ行ってほしいなと思います。でも、オンライン留学しかできなかったことに、どんな意味を与えるかは自分次第だと思っています。オンラインで海外の人とコミュニケーションをとるのは、今後普通になるかなと思うので、ビジネススキルというか一種の経験としてあったら武器になると思います。コロナの影響などで、これから思い通りにいかないことがあるかもしれないけれど、それは誰も悪くないので頑張りましょう。





神田実鈴さん

国際共創学科 4年生 2019年1月から HUSA プログラムへ参加 4 か月間ミネソタ州へ留学

●どうして留学先にアメリカを選んだのですか?

▲ IGS で留学の出願を開始するのは 1 年生の 10 月頃だったと思います。私の場合、その時までに自分のフィールドを選択することもできていませんでした。また、世界のいろんな国に留学できる中で、例えば東南アジアなど、他の地域ももちろん考えたのですが、自分の第 2 外国語能力に自信がありませんでした。例えばフランスに留学して取りたい授業がフランス語だったみたいなことが起きたら困るなというのが、自分の中にあったので、英語圏であるアメリカに行ったら、言語の問題はまず無いだろうと思いアメリカを選びました。この理由に加え、開発系の学問や政治にすごく興味があったので、そういった学問が強い国で勉強したいという理由で、アメリカにしました。

■.留学を始めるまでで大変だったことは何ですか?

▲ 学校のサポートは手厚かったのですがビザを取るときに、アメリカの場合、領事館や大使館にいく必要があり大阪まで日帰りで行きました。さらにそれに期限があったということが大変でした。また、留学にはお金が結構かかるので奨学金を受ける必要があり、そのための勉強にも気が抜けませんでした。あとは TOEFL です。アメリカの大学に留学しようと思ったらやはり TOEFL の

点数が何点以上という基準があるため、その基準を超えるための勉強が必要です。TOEFLの基準点を上回っていないと受けられない授業もあるため、先を見据えて早い段階から計画的に勉強しておくことをお勧めします。

■.留学先での食生活はどのような感じでしたか?

■ 私が留学していたミネソタはすごく北のほうにある寒い地方でした。そのため田舎というわけではないのに、新鮮な食べ物を食べるチャンスが少なかったです。車があれば大きいスーパーまで買い出しに行けたかもしれませんが、持っていなかったため買い物は近くのターゲットというスーパーで済ませていました。私はアパートに住んでいたので自炊ができる環境は整っていたのですが、課題に追われる毎日だったため、めったに料理を作ることはありませんでした。学校のカフェテリアで食べられるのもピザやポテトなどのファーストフードばかりでした。Panda Express という中華系のお店もよく利用していました。そのお店では比較的日本の食事に近いものを食べることができました。ただ、何より野菜を食べる機会が少なかったですし、日本での食生活とは全く違いました。

■ 留学中に何か困ったことありましたか?

■ 色々な国からきた留学生と生活を共にしていたので 文化間の壁にぶつかることはありました。日本では個 室がある家が多いですが、アメリカでは同じ空間をシェ アすることが多かったです。例えば寝る部屋は別々で もお風呂やキッチンが共用でした。私が住んでいたとこ ろは台湾人 2 人とタイ人 1 人と、私と黒人のアメリカの 女の子というルームメイト構成でした。文化の異なる留 学生と現地の学生が生活を共にする中で、タイ人の女 の子とアメリカ人の女の子がすごく仲が悪くなってしま いました。ルームメイトの問題が留学中で一番大変だっ たように感じます。

●.英語の訛りはありましたか?

▲ .IGS にはほとんどネイティブの先生がいません。日本人の先生はもちろんですがネイティブの先生も IGS ではとてもゆっくり聞き取りやすく話してくれていると思います。現地の方々はその 1.5~2 倍くらいのスピードで話します。たまにスペイン訛りなど聞き取りにくいこともありましたが基本的には訛りで困ることは少ないと思います。話すのが早い人の英語は聞き取れないというよりも頭が追いつかないと感じました。基本情報量は倍以上です。初めての授業は緊張しましたし、いっぱいいっぱいだったことを覚えています。4 か月程いると慣れてくるのでそこまで心配しなくて大丈夫だと思います。毎日がサバイバルのようで、発言しないことは授業に出席していないのと同じことだと感じました。



● 留学先で日本人学生と関わる機会はありましたか?

■ すごくありました。実は本当に最低でも月1で会っていました。私が留学していたミネソタには日本人の学生をサポートするクリスチャンのボランティアの NPO 法人がありました。NPO の方々が初めて会った時から手厚くサポートしてくださいました。とても手厚く歓迎していただいてとても心強かったです。また、現地の日本人のボランティアが月1で日本食をご馳走してくれるのでそこに行っていました。とてもおいしかったです。

●.日本人の学生と関わりで気を付けていたことはありますか?

■ もちろん日本人同士だったら日本語で話します。だけど私は自分から日本人同士での交流は悪いものだとは思っていなくて、それをわざわざ排除する必要はないと思っていました。ただ、せっかく別の環境で生活するのだから、日本人に依存することが無いように気を付けていました。例えば、ネイティブしかいない授業を積極的に受講しました。また、吹奏楽団のオーディションを受けに行きました。活動はすべて英語で行われており、団員に日本人はいないという環境でした。日本人同士で交流する機会もネイティブの人たちだけと交流する機会もどちらも大切にしていました。日本人とずっと一緒に過ごすのは IGS での生活と変わらないので、そのギャップを大切にするようにしていました。

■.アジア系としての差別を感じることはありましたか?

■ 私が直接的な差別を受けたことはありませんでした。 しかし、先ほど述べたようなルームメイト間での人種的なトラブルはありました。また、Asian Racism と言われたことがあり、それに関しては疑問を抱きました。他にも白人は白人のコミュニティ、黒人は黒人のコミュニティ、アジア人のコミュニティというような所属意識のようなものを強く感じました。私の元ルームメイトだった黒人の女の子に、「白人の友達にパーティーに誘われたんだけど、怖いから行こうかどうか迷っている。一緒に遊ぶべきだろうか。」と私に相談されたことがあります。このように人種間のグループでお互いがお互いをさけあっている。ミネソタでの生活で人種間の溝を感じることがありました。

●.留学を通して学んだことや得られたこと教えてください。

留学を通して、サバイバル力を磨くことができました。 元々私はポジティブで前向きでしたが、さらに物おじし ないようになりました。留学に行く前の1年半、日本の IGS の授業で質疑応答の時間があると思います。「もし かしたらこの質問の答えはすでに講義の中で解説され ていて、自分が聞き取れなかっただけなのではないか」 「この質問はわざわざ聞くほどのことではないのかもし れない」などためらうことが多いのではないでしょうか。 でも留学から帰るとそれが全然怖くなくなりました。気 になることがあれば何でも聞けばいいと思うようになり ましたし、今では先生に余裕で反論します(笑)質問す るのも反論するのも、今なら何も怖くないというように恐 れ知らずになって帰ってきたことが 1番の収穫だと思っ ています。また、勉強に対する熱量がさらに高まりまし た。日本では学費は年間50-60万円ほどですがアメリ カでは400万円程です。アメリカの学生は良い成績を 取るために必死で勉強します。そのような高い意識を 持つ仲間たちと一緒に学習することで、勉強することが 当たり前になりましたし、苦に思わなくなりました。それ にリーディングの勉強もまじめにするようになりました。 当たり前で基本的なことだと感じますが、大事な変化だ ったと思います。

●.留学前に、今私たちができることはなんですか?

■ 日々の授業を真剣にうけること、あとは日本語でしっかり勉強すること。とれる単位数の制限はありますが専門的な内容を学ぶことができるので日本語での授業をとることもいいと思います。自分で特定の分野を勉強する時に IGS に居ると、どうしても教科書が英語だったりとか、参考文献が英語だったりとかするから読まなきゃ読まなきゃと英語を読むことが目的になってしまいがちです。それよりも絶対日本語の深い知識がバックランドにあった方が、例えば知らない英単語を見た時にぱっとあの事を言っているんだなと頭の中で繋がります。その日本語の文献を先生によっては英語のものだけ

読めという人もいると思います。それは自主的な学習として、絶対日本語で勉強して幅広い知識を持っていた 方が楽だとおもいます。

■.IGS と IAS の後輩にメッセージとアドバイスをお願い します。

A 今になって思うのは IGS も IAS も、良いところであり 悪いところであるのが幅広く学べるからこそ、専門性が 浅くて何を学んでいるのか分からなくなる恐れがあると いうところです。そういう学部だからこそ、自分の専門を 突き詰めるっていうのをしっかり心に持って無いと何も 出来ない人になってしまいます。そして何も身につかな いまま卒業することになってしまいます。だからみなさ んは問題意識みたいなものを持って入学してきている はずだから、それをちゃんと自主的に勉強し続けてほし いと思います。でも色々な授業を取らないといけないで すよね。必修の授業も何らかの場面において将来必ず 役に立ちます。そのためそれらを幅広く消化しながらも、 人が見てないところでも努力してほしいと思います。1 年生のうちからこの学部のいいところ、かけているとこ ろを理解して自主的に積極的に学んでいってほしいで す。今勉強していることは留学した時かならず皆さんを 助けてくれますし、人生をより豊かなものにしてくれる はずです。

履修登録・サークルって…?

総科生の過ごし方

なかなか決められない、履修の話や普段の過ごし方について聞いてみました!

1年生1ターム/4~6月

授業

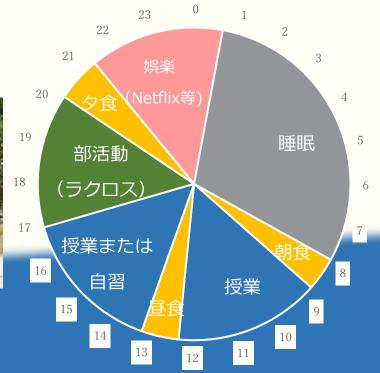
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-----------------|----------------|------------|----------------|-----------------|
| 1・2 限 | 社会福祉と 貧困 | | 大学教育入 門 | | |
| 3・4 限 | " | コミュニケーション英語 IA | " | | コミュニケーション英語 IA |
| 5・6 限 | 教養ゼミ | ベーシック スペイン語 | マクロ経済学 | ベーシック スペイン語 | ミクロ経済学 |
| 7・8 限 | " | | " | | " |
| 9•10限 | インテンシブ スペイン語 | | | | インテンシブ スペイン語 |

1日の過ごし方

平日

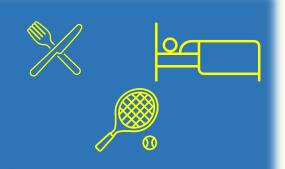






2年生1ターム/4~6月

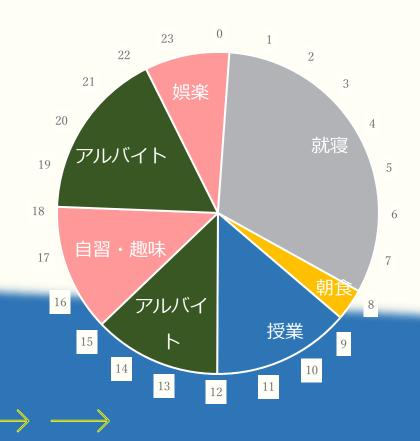
授業(教員免許取得予定)



| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|-------|---|-------|-------|------------|
| 1・2 限 | | | 比較文明論 | 睡眠の科学 | 多様性生態 学 |
| 3•4 限 | 日本の仏教 | | " | " | " |
| 5・6 限 | 教育の思想 | | | 聖書学 | 統語論 |
| 7•8 限 | 教職入門 | | | " | " |
| 9・10 限 | | | | | |

1日の過ごし方

平日



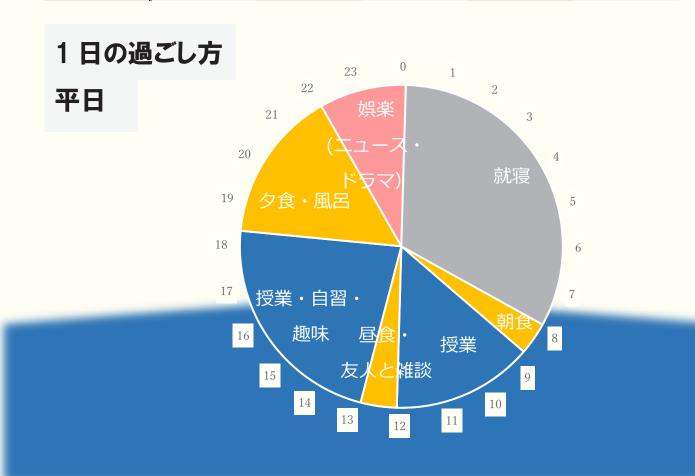
2年生1ターム/4~6月





授業(教員免許取得予定なし)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|----------------|----------------|-------------|-----------------------------------|-----|
| 1・2 限 | 適応心理学 | | 中国伝統文 化論 | | |
| 3・4 限 | " | 中国語中級 聴取法演習 | 中国伝統文 化論 | | |
| 5•6 限 | 身体運動科 学概論 l | " | | 英語発音法 演習 | 統語論 |
| 7・8 限 | 身体運動科 学概論 | | | " | " |
| 9•10 限 | | 中国語中級 会話演習 | | 中国語コミュ ニケーション・ スキルアップ IB | |





IAS 在校生紹介





総合科学科 2 年生 人間探究領域 言語コミュニケーション授業科目群所属

どうして総科を志望したのかについて AO 入試 のことも含め、いつごろから考え始めたのか詳し くお話を聞かせてください。

▲ まず AO 入試を受けようとなったきっかけは高 校 3 年生の放送部の大会でした。放送の大会に は朗読やアナウンスなどの読み、番組制作以外 にも研究発表という題目があります。私はアナウ ンスと番組制作をメインにやっていたんですけど、 高校 2 年生頃から「いい声とは何だろう」というこ とに興味を持ち、大会に向け研究発表を進めるこ とになりました。幸運にも音声学を専門とされて いる大学の先生に高校にお越しいただく機会が あり、音声ソフトの使い方やデータの見方などの ご指導をいただきました。高校の先生や大学の 先生が私の知りたいっていう気持ちにとことん付 き合ってくださったことで、研究の面白さを感じ、 もっと勉強してみたいと思うようになりました。幸 いにもこの研究で全国大会まで進むことができ、 他にも大会で実績があったので「じゃあ AO 入試 はどうだろうか」という話が高校3年生の6月頃 にふっと沸いて、だんだんと現実味を帯びてきた んです。そこで AO 入試が盛んで、音声学ができ るところ、さらに学際的なこともやっている広島大 学の総合科学部に行きたいなと思いました。

ℚ 広大の総合科学部を選んだ理由を教えてください。

▲ 音声学には言語を分析するという意味で文系 寄りな面もありますが、一方で音はそもそも物理 現象なので、物理の知識も必要だと思いました。 そこで文系理系どちらもやっている学部を探して、 総合科学部を考えるようになりました。その後、 研究発表を手伝ってくださった顧問の先生が広 大で音声学を研究されている山根先生の論文を 持ってきてくれて、「ここだったら絶対研究をして る先生もいはるし、もうここを受けよう!」と背中を 押してくださり、総科を受けることを決意しました。 8 月のオープンキャンパスにも参加し、キャンパ スの良くも悪くものどかな雰囲気も私はすごく好 きで、いろいろな学部が入っている総合大学とい うところも面白いなと思いました。

● 音声学に興味があるとおっしゃっていましたが、 研究についてもう少し詳しく聞かせてください。

▲ 私が一番興味のある分野は**声質の良し悪しを見る分野**です。何でこの声は良いんだろう、どうやって出してるんだろうという思いから、声を分析して「良い声」の普遍的要素を見たいというところが出発点でした。そうなると音の観測という理系の分野になりますが、プラートという音声を分析するソフトで声の波形を見ることができます。例えば、意味が違えば読み方って変わります。「"2時"に集合です」というのと、「"虹"が出ている」の"にじ"では読み方が違いますよね。こういったものを視覚的にとらえることができます。

<mark>❶</mark> もともと音声に対する興味があったのでしょう か。

▲ 昔からテレビが好きだったんですが、まさか高校に入って音声の研究をすると思っていませんでしたし、放送局に入るとも思ってなかったです。どちらかというと研究したい分野があって入ったわけじゃなくて、入ってみて研究したいっていう気持ちが出てきたという感じです。

放送局では、アナウンスと番組制作をしていて、 私は、番組作成の方をメインでやっていました。 高1の頃は読みがあまり上手じゃありませんでし た。顧問の先生には「牧野は、読みより番組作成 の方が得意なんだから番組の方を頑張りなさい。」 と言われて、そこがちょっと悔しかったんですよね。 特に高校 2 年生くらいになると、みんなどんどん 上手くなっていくのに私だけ置いてきぼりな感じ がしていました。でも、高校 2 年生のときに全国 高校総合文化祭の放送部門を見学して、アナウ ンスへの打ち込み方が一変しました。すごく声に 芯がある方がいて「なんて上手なんだ、なんて素 敵な声なんだ。」と思い、その人の声に憧れて毎 日お風呂で練習を始めました。母親には「娘がつ いにおかしくなったかと思った」と言われましたが (笑)。そしてなんと練習していたら発声が急に上 手くなったんです。2年の秋ごろに声が変わって、 そのすぐあとに放送の府大会があって、そこのア ナウンスで初めて 4 位に入ったんです。1 回も勝 ったことがないし、何なら下手くそって言われ続け ていた自分でも人並みに読みができるようになれ たのだと嬉しかったと同時に、なんでできるように なったんだろうっていう疑問が生まれたんです。 声への興味はそこから始まったと思います。

だから、放送局での3年間の活動の中でターニングポイントごとに色々なことが起こって、それが研究に結びついたっていう感じですね。突然研究を始めたという訳ということではなくて、日常生活で「なぜだろう?」って思った事を調べられる環境があったというのはすごく大きかったと思います。

Q 総科の印象を教えて下さい。

■ 学部全体を見たときに、同級生が多種多様で 色々な方向を向いているところです。興味の方向 が全然違う人と関われる機会があるっていうのは 総科の良いところだと思います。物理が大好きな 友達と言語に興味のある私とでは話が全然噛み 合わないんですよね。お互いが喋って、お互いが 「へえ~」みたいな(笑)。でも友人関係は続いて いるっていう不思議な感じです。留学生や帰国子 女の方が総合科学科、国際共創学科のどちらに もいて、バックグラウンドが違う人と交流する機会 が多いのは地方の国立大にしては珍しいと思い ます。他の学部だと広島や近くの九州出身が多 いと思いますが、総科って県外から来ている人が 多いような気がしています。先生についても、い ろいろな分野の先生がいらっしゃるので、自分の 興味と先生とのすり合わせをして知りたいことを 突き詰めることができると思っています。山根先 生が仰っていたことなのですが、「学生のやりた いことが主体で、それを私たち教員がサポートし ていくのよ。主役はあなた達だから。」って言われ て、すごく感動しました。総科には、やりたいこと がないから来ましたっていう人も多いですし、そ れもそれでいいとは思いますが、何かやりたいこ とがあるからこそ、いろいろな先生や同級生、先 **輩の意見を取り入れながら自分の興味をとことん** 調べて研究できる。そして、本物の知性に触れる ことができるのかなと思っています。



Q 総科で大変だと思うことはありますか。

▲ 人によって違うと思いますが、例えばやること が決まってなくて入った人にとってきついと思うん ですよね。なんでもできると思って入ったら別にな んでもできるというわけでもなくて、ここの学部で は自分が本当にやりたいことができないと気づい てしまった時はきっとつらいだろうなと思います。 だから総科を過信して入ってはいけないかなと思 います。ちゃんと調べてこの学部で何ができるか 自分目線で考えてみることが大事だと思います。 たまに理系の先輩から聞くのは、総科の理系は 理学部や工学部に比べると専門性に欠けるとい うことです。総科は他のどの学部と比べても、少 し浅いという面はあると思います。これは私の個 人的な考えですが、どの学部であってもベルトコ ンベアに乗っていたら、その道のプロフェッショナ ルになれるかっていうと多分なれないんですよね。 特に総合科学部は自由な分、その型が用意され てないと思います。自分で作っていかなければい けないのはある種苦しいところだとは思います。

♥ サークル活動と普段の過ごし方を教えてください。

▲ 広島大学フェニックス放送という音楽協議会に 所属しているサークルに入っています。今年から やっと活動できそうなので、今はコロナの状況と すり合わせながら大学放送の大会で勝つために 活動しています。普段の活動はそんな特別なこと はしていなくて、対面やオンラインで授業を受け たり、図書館に行って本を読んだりしています。ち ょっと天気が良かったら散歩に出て、ギターを弾 いてることもあります。あとは研究をどう進めてい けばよいかは、何をしている時も少し考えていま す。コロナ禍での話をすると、変えられない状況 で何ができるかな、勉強も含めてどう遊べるかな、 どう楽しく過ごせるかなというところを一番に考え てます。先日、山根先生とのお話で「とうこちゃん はレモンをレモネードに変えているよね。」と言わ れました。"When life gives you lemons, make

lemonade ."ということわざがあって、「人生困難の時、困難の状況がレモンで、それを使って美味しいレモネードを作りましょう。」という意味です。コロナの状況を悲観することはいくらでもできるんですよ。もっと遊びたかった、イベントがなくなって悔しいとか不平不満はキリがないですよね。でも、この状況を利用して、一人でいるのはそんなに嫌いじゃないから外を散歩しようとか、たまにしか会えない友人との瞬間が貴重だなとプラスに考えています。私の場合は外で友達と遊べない分、興味のある研究をすることで遊んでいました(笑)。



Q これからの研究活動など、将来の展望につい て教えてください。

■ 将来研究職に就くのか、就職して企業に入るのかですごく迷ってます。本物の研究というものを間近に見て、実際それを仕事にしてる先生と交流をして、私にこれができるのかなあ、学問に本気で向き合う覚悟があるのかなあと考えています。昔から放送業界に入ってディレクターの仕事をしたいという気持ちもあったこともあり、今は何を仕事としたいか日々考えることが多いです。本気で研究をするっていうのと、就職に向けて準備をするっていうのは、多分どっちつかずにやってはいけないなと思うので、私は働くの?勉強するの?ということをものすごく考えます。今は目の前にある放送サークルと『*9 時 10 分前』の研究と、あと

研究室インターンと、授業ですね。それらを全力でやるっていうのが結局一番近道かなって思ってます。どのタイミングでも大事じゃない時期はないと思うので、大学生に限らずとも目の前にあること一生懸命やることは大事なんじゃないかなって思って頑張っています。

*『9 時 10 分前』は総合科学概論という授業で書いた小論文のタイトルです。9 時 10 分前は「9 時よりも 10 分前」なのか、「9 時 10 分よりも少し前」なのか、という曖昧性をイントネーションという視点から考察したものです。よかったら読んでみてください。

リンク:「総合科学部総合科学概論」 https://www.hiroshimau.ac,jp/souka/faculty/f_carriculum/gairon



Q 最後に、オープンキャンパス号を読んでいる高 校生にメッセージをお願いします!

▲ 高校生の間って授業とかで揉まれるだけじゃ、 自分の本当にやりたいことって見つかりにくいと思 います。課外活動もそんなに転がってるわけじゃ ないですから。だから10代後半の多感な時期 に、勉強だけでなく、数少ないイベントを大事にし て本気で取り組んでみてください。また、これは志 望校が決まっていない方に向けてですが、大学に 入ることを目標にするんじゃなくて、大学に入った 後に何をしたいかなってことを考えながら大学・学 部学科を選んでみるといいと思います。コロナ禍 の受験って私たちのとき(2019~2020年)と気を 配ること大変さの方向性が全然違うと思います。 なので、受験生には心から尊敬してますということ をお伝えたいですね。一生に一度の高校生活を 受験ひっくるめて本気で楽しんでください。皆さん と広大でお会いできることを心よりお待ちしており ます!

<私の AO 入試事情>

まず 9 月くらいに願書を出して、そこから 9 月の末に一次審査の結果が出るまではもう落ちたものとして一般入試のための勉強をしました。

Ⅰ次審査に通ったので、そこから小論文と面接の 練習をしました。「夢ナビ」というサイトで大学の先 生のミニ講座が配信されているので、それを元に 先生に問題を作っていただきました。動画を見なが らメモを取り、動画を見終わった後に自分の記憶と メモを頼りに制限時間内に問題に答える、という流 れで Ⅰか 月くらい毎日練習をしていました。

面接と小論文の 2 次試験が終わったら、また落ちたものとして一般入試への勉強をして、12 月に最終発表があり、合格が決まりました。

留学生座談会

International Students Roundtable

We are unique,

Q. Introducing yourself.

Hana: Ok I will go first. Hi everyone, my name is Ong Ai Lin. You can call me also Hana. I'm from Malaysia, but I also have a half-blood of Japanese. I'm in the second grade of IGS. I've just arrived in Japan due to a Pandemic. I've not been able to go and experience living in Japan yet. Hopefully, from now on I can do so.

Enochs: My name is Enochs Seki. I came from Hong Kong. I'm studying at IAS. I'm studying biology Now I mainly use Japanese, but it is still difficult for me.

Rinka: My name is Rinka Kaku. I'm from China. I have lived in Japan for 7 years, so I came to Japan when I was in junior high school. Now I'm in IAS and I study physics.

Trung: Hello everyone. My name is Trung. I am from IGS. I came from Vietnam.

Q1. Why did you decide to come to Japan?

Hana: For me, it is because of my ethnicity. I've lived the whole of my life in Malaysia, I got a chance to connect with my other part of my culture, so coming to Japan was almost like my dream or something. This is the main reason that I wanted to come and study in Japan.

Trung: My reason to study in IGS, in Japan. It likes lucky for me to study in IGS because I remember that in July 2019. I was trying to pass the final exam University of Japan which is Hiroshima University. And I passed.

Enochs: Congratulation. My reasons are so simple. When I was a child, I watched Japanese animation and manga. I would like to try to live in Japan just once. So, I come here and I hate Tokyo because I live in Hong Kong.

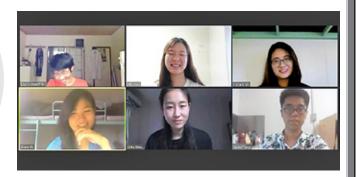
Grace: Uhh... It is a town.

Enochs: Yes, so it's enough for me. So I chose Hiroshima and I enjoy life in Hiroshima.

Rinka: I came to Japan due to my father's work, so it was not my decision.

Grace: So, do you maybe have a plan to go back to China?

Rinka: I'm thinking to study abroad in graduate school.



Q2. How have you found out about this program?

Hana: For me When I looking for Japanese Universities. Every year before the pandemic, there is a big fair where a lot of different Japanese universities will come to Malaysia and promote the university. We looked around the booth of the universities. Actually, I was thinking of enrolling in another university, but I changed. I met the IGS counselor there and she introduced me and my mother to this IGS course

that this course is an English course it basically doing and teaching something that I wanted to do. Moreover, since Hiroshima University is a public university, I thought it would be more affordable than other universities that we were looking to. So after finding this university, started to work towards coming to this university. That is how I found this university.

Rinka: I was in a Japanese high school, and I just searched faculty Benesse's website. I didn't want to study only physics but also other subjects, so I chose this Integrated Arts and Science.

Trung: Just like Hana, I also had an orientation event in Vietnam and many Japanese universities came and introduced themselves. Actually, Hiroshima university was at the bottom of my university list because I prioritize science more and I did not want to study social science but then something happened to me like I got interested in some of those Japanese universities about the science course. And I found that the Hiroshima University has an IGS course and at that time I can improve my social science course, so now I'm studying at IGS.

Enochs: Actually I wanted to study neuron science and IAS provides brain science classes at the same time, I wanted to learn psychology and philosophy. So this course is best for me. And I want to train my Japanese skill, so I chose IAS, not IGS.

Q3. How did you prepare for the entrance exam?

Enochs: I studied in a Japanese language class. And I bought some exercise books all in Japanese. And I took the exam called EJU and I also had to pass the interview test of Hiroshima University. Since all of these tests are taken in Japanese, they were difficult for me. Especially the name of atoms and living things are Japanese, so they are totally different.

Grace: Change all that you had learned had changed.

Hana: Yes, I guess when you are new to a language when you do science is the very, very Enochs: Frustrated.

Grace: How about others?

Rinka: I prepared just like a normal Japanese student. I passed the selected Chinese in center exam instead of English, so I didn't study English for the entrance exam.

Trung: International students in IGS had to do two essays, right? And I had to submit the score of IELTS or Toeic, or SAT.

Enochs: How many scores do we need...? Maybe over...

Grace: I only remember the IELTS score. We need over 5.5 I guess.

Enochs: 5.5 is easy.

Grace: Yeah, when I hear the first time, I thought it quite low.

Hana: I guess it is made up for essay is more important than English, maybe disorder and say opinion is base of the entrance exam in IGS.

Enochs: Do you guys take the paper exam like mathematics...?

Hana: We didn't do that. We just asked to do two essays and submit the score in high school and interview.



Q4. What do you wish you knew better before coming to Japan?

Trung: I wish I knew more Japanese.

All: Yes, that's true.

Hana: On the topic of language. I wanted to know basic knowledge the things or manners as an adult. And basic knowledge of technical terms in Japanese because I had a problem when I register at the city hall.

Enochs: If you know words like *Kole, Sole, Ale* (this, that). We can order some food, and so on.

All: lololololol

Grace: How about Rinka? Like it will gonna be interesting because interesting for us because it is very different from us.

Rinka: Before coming to Japan, I wish I could know more about Pokemon and some manga. It was difficult for me to be common.

Grace: Yeah, that's different.

Q5. What things from your home country do you miss in Japan?

Enochs: This is the most difficult question.

Trung: For me, it'll be something like ingredients. It's a special ingredient in Vietnam.

Grace: It is difficult to buy in Japan?

Trung: Yes, we can buy the same thing in Japan like soy source, but the tastes are different.

Hana: I would say for me. I don't have a serious necessity. Actually, I'm quite comfortable with ingredients and food in Japan because I have Japanese and my mother makes Japanese food all the time and it is very easy to find Japanese ingredients in Malaysia so I don't really have an issue with the taste or for anything and I used to it. But I have many foods that I miss. I brought it when I came here but it has all run out now. So I wish I could bring more food.

Enochs: Maybe some books written in mother tangs because in Japan, it pretty expensive for me I think. Also, your laptop is necessary for a new life in Japan because you don't have money to buy a good pc. So we need a laptop, books, and snacks are very necessary for us I think.

Q6. Mention some major difficulties you have

encountered in your dairy life in Japan.

Hana: for me, none in particular because my mum really kind of emphasize making sure that she makes sure that her children kind of experience a little bit of Japanese culture. And we go about daily life. And I have a lot of families here as well. So, whenever we come and visit them. It is more like a nice reminder or somethings like that. And we are always looking forward to coming back to Japan. We are not hear really often. So, there is not very much difficulty I would say in term of culture. But, obviously, the first few times it is a bit hard getting use to Japanese habit or manners. But I guess once we experience to a little bit more. You do it by instinct. So, I would not say there is difficulty at all.

Enochs: For the difficulty, maybe you can say is that you have to understand some Japanese words that are not actually Japanese word. For example, 若者言葉, you would never learn some words like this. And then first time, you hear, for example たびる, you have no clue no idea for this word. And then you just have to ask your friend what たびる mean. They would try to explain to you, and most of the time you can understand it.

Trung: I also think that the most difficulty in living in Japan. For the second thing, I think living alone. You have to be responsible for everything.

Rinka: I can speak fluent Japanese, but sometimes my friends treat me as a Chinese or Japanese. It is like a mixture of both Chinese and Japanese culture. But when they talk to me like これは言わなくてもわかるよねみたいなことを

Q7. What can you tell us about your study experiences at Hiroshima University?

Rinka: Because of pandemic, we could not experience the real university life. Everything was online class. I wish I can have group work or discussion class. It was just like I have to watch the lecture videos and then submit my assignment.

Enochs: Actually, we have our studies log in this university for one month or two months. Just this year from April. It's not all the online lesson. I pretty enjoy the lessons in IAS because the professors are pretty nice, and the contents are very interesting for me. I like the biology and this university is pretty good for me. Yeah this is all.

Hana: I would say not exactly to... I would not say this is like criticize, but more I would say..as

a feedback for university is I have the feelings that they are not really used to international students yet. Because see how I don't think there is a big demographic of people from another countries. So, that's what I feel. So, it's ... I think that a lot of the faculties, and I would say stuff members have a really difficulty dealing with international students in term of language. So, whenever we have things to ask about our academic or you want help on settling in or Usually, things that students would ask. They are not really sure how to help us. They kind of keep referring us to this person, that person. And it feels really cool in my opinion. And like, you think that students are having trouble already issues with language. I would feel a least to have some sort of policy or somethings where stuff members or faculties' members can do something to help international students. Whether that be employing someone who can speck basic command of two languages. Or at least English I would say. Like you do not have to employ a big number of the staff who speck so many languages, but at least English. And be able to at least have basic conversation with international students and tell them yeah that's what you need to do. If you need help, you can refer to this. But it des not seems to like there are a lot of support from the school. Especially, I would say for the students who are on scholarship like MEXT. At least, they have a little bit support from MEXT. Like MEXT kind of handle most of things that they need. But, for students like myself, who are privately funded, I do not feel like there is a big support from school in term of helping international students. And to the point where I have to ask for help from my mother. And she has to send email from different country be like "oh my daughter, she needs this and that". And then finally, they understand ok this is what she was asking. It's very inconvenient in my opinion. So, having someone who can help in term of the language will be very useful for the international students. So, I guess that not to criticize the school, but I hope it turns into some sort of feedback that could help and hopefully attract more. International student to the school because it is a very good school. It's just that there are some certain things that they need to help all compromise to attract more international students.

Trung: Yeah, actually in Hiroshima university, only IGS which is English. Boss, it already like rank top 10 university in Japan. I think if

Hiroshima University can expand more English assistance. They can rank higher.

Enochs: Also, maybe, they can provide more English lesson. Like in IGS, you can do it in science department, or other departments. It is pretty good for international students and also for Japanese students. They can take this class to learn more English, special term in biology, chemistry, something like that.

Q8. What are your impressions about dairy life in Saijo?

Hana: yeah, I would say my answer is the same as my school answer.

Enochs: lololol

Trung: I would say in the winter. It is really cold lol.

Enochs: yeah yeah it is really cold. And in summertime, it is really hot lololol.

Hana; And a lot of Bugs Iololo. And it is really mountain here.

Enochs: And sometimes, you can see a lot of animals in our campus. Please, enjoy your life in Hiroshima university lol.

Hana: I would say that season change here is very nice. Well, I would say the only time that is very nice is during spring or autumn because that's when it's very vibrant. So, with all the nature around you, it's very vibrant and the temperature is not so hot and not so cold. It is the nice atmosphere. I mean fresh air.

Echos: we have a lot of cherry blossom in our campus. So, it is very nice, and we can take a beautiful picture for Instagram or Facebook. Lol

Grace: So overall, it is far inconvenient, but very beautiful.

Q9. What is it like being an international student in Japan?

Echos: well, how to say I don't think I am an international student now because in IAS, I mostly use Japanese every day. So, I would say I am foreigner try to be Japanese now.

Hana: I would say they are unique but disadvantaged and advantaged at the same time

Grace: really?! Lol for example?

Hana: Yeah, you know you see that you came from different countries, but at the same time, there are some certain things that you can do as a foreigner. But. I would say we itself and other areas that we don't. But in terms of without seeing better or good, I don't think those things it's a bad or good thing it's. Kind of. Explain but if you feel you stand out a lot. Sometimes in a bad way, more times in a good way. And sometimes when you want to stand up. Or sometimes it's I guess the beauty of is being an international student. Sometimes I feel the difference in culture. Maybe that might be a little bit more. Started. So things that we are more willing to speak out on Japanese or not just building the speaker. I think it's some ways we that. Some real benefit 2 Japanese students sometimes. And, um. I guess the bottom line here is a boat, students trying to learn the same things. You know it's just our nationality is about culture is a little bit different, but. Yeah, I guess that's it's a way we get along. Move sometimes we get. We get along despite our differences in culture and nationalities so. Um from one. I don't feel like I am being discriminated against. I don't feel. I feel go a lot of the students here are. Great open and not like you like Florida or something like that, but they're morons. Willing and everybody happy that we add have international students as their classmates. So that's something that I'm very happy about, but hopefully obviously with the pandemic now we're not able to communicate or speak to our classmates as much as we want to. That's just why I feel that we haven't gotten many opportunities to interact with each other. So that's why we have online classes and everything you don't feel special in show their international students because everyone is doing the same thing.

Echos: Yeah, and you can't see anyone yet. And that's why I do not friends.

All: lolololololololol

Trung: but I think, we, international students should have like some people from the same country in the school. For example, have two or three Vietnamese students in IGS. So, they could have their community. Like Grace, you have your

brother. It is more convenient for you then you want to speak to your family.

Grace: lol

Echos: I think you guys can do it easily in IGS. In IAS, there are only two international students.

Rinka: I don't know who else is international students in IAS.

Echos: Well, there are me and another Korean girl (?). I don't know.

Hana: I love how you guys do not know other international students.

Trung: But I think the number of Chinese students in IAS very large right?

Hana: yeah, I guess. And that is why I agree that international students should be at least have their community where people speak the same language as you do. So yeah, I think that's that will be very helpful to align international students in IGS especially. If we are able to attract more international students, yeah.

Grace: Yeah and like, you are not alone.



編集EDITORS' 後記COMMENTS

~2 年生幹部編集員~

宗愛澄

この度は飛翔を読んで頂きありがとうございました! 私事ですが、取材や執筆メインだった昨年度と違い、今年度は飛翔をまとめる立場として活動した1年でした。そのお陰で1冊の本を制作するのに、色んな人の協力と手間がかかっていることを身を持って実感できました。大変でしたがその分良いものができたと思います。飛翔を通じて総科に興味を持って頂けたのならとても嬉しいです。最後に、制作にあたりご尽力して頂いた編集員、先生方、支援室の方々本当にありがとうございました。

大橋春仁

僕自身将来について考える中で、同じような境遇の総科生の進路選択の参考になるものを作りたいという思いで活動してきました。コロナ禍という制約もありましたが、多くの1年生にも参加してもらい、例年の年一冊に加え、オープンキャンパス号も作成することができました。新たな挑戦は大変なこともありましたが、幹部メンバーを主体に全員で完成させることができたことを大変嬉しく思っています!今後もより多くの学生に読まれ続ける、飛翔になることを願っています。1年間ありがとうございました。

藤島華

飛翔を読んでいただきありがとうございます。今年度はオープンキャンパス号とこの 98 号の 2 号を発行することができました。それは先生方や支援室の職員の方々、そして飛翔編集員のみんなのおかげです。飛翔のおもしろさは、読むだけではなくてインタビューの言葉が自分にとってどのような意味を持ちうるのか考えたり、企画記事から 2021 年、2022 年の総科生がどのように過ごしているのか通時的にみたりすることすることにもあると思っています。来年も楽しみにしています。

青木美緒

This year, we tried a new way of interviewing. Although there were many difficulties in organizing the interview, thanks to support from other members we successfully finish HISHO 98th. I am very glad to have an opportunity to be involved with HISHO.

Gesree Komolsiriku

This is the second time I've taken part in this project. It was both challenging and exciting this year because I played a different role in the process. My favorite parts were the interview and designing the cover. I was worried about whether I had completed both portions perfectly. I hope everyone enjoys our publication. Also, thank you to everyone working on this project.

~1 年生編集員~

神原陽

インタビューを通じて今まで知らなかった分野の知識 を深められただけでなく、先生方の学生時代の話から自 分が今後どのように過ごしていきたいかを考えるきっか けにもなりました。ありがとうございました!

小林沙弥

大学生活がはじまり、何かしたいなと思って入ったのが飛翔でした。自分が受験生だった時にどんなことが知りたかっただろう?とインタビューの質問を考えたり、アンケートをつくるのはとても新鮮でおもしろかったです。飛翔に関われてよかったです。ありがとうございました!

川鍋健人

取材でいろんな先生から研究分野やキャリアについて お話を伺えたことが、ターゲットであるこれから大学へ進 む高校生だけでなくて、入学して進路を考える上でもとて も印象に残りました。ありがとうございました。

玉井咲世

パンフレットの作成に興味があって、飛翔の作成に参加しました。実際の活動では、自分とは違う入試を経験した人のお話を聞けて新鮮でとても楽しかったです。飛翔が、少しでもたくさんの人が広島大学総合科学部への興味を持つきっかけになれば嬉しいなと思います。

井上泉希

飛翔の活動を通して多くの人と関わることができました。またメールでのアポ取りや先生へのインタビュー、編集作業など、貴重な経験をたくさんさせていただきました。 飛翔の活動に関われてよかったです!ありがとうございました。

恒松杏

飛翔の活動を通して、大学の先生方がそれぞれ情熱を持って研究されている事について詳しく聞くことができて本当に良かったです。編集作業も今までにない経験をさせてもらい、1年間の活動を本当に楽しむことができました。この活動に協力してもらった全ての人に感謝の気持ちを述べるとともに、これを機に総合科学部に興味を持つ人が増えたらと思います。

小出浩暉

飛翔の活動では先生へのインタビューが特に印象に 残っています。専門的なお話などは理解するのが難しか ったですが、大学の先生と話すという貴重な体験をさせ ていただきました。ありがとうございました!

片山知美

インタビューを通して、普段の授業では聞けないような 先生方の研究活動や学生時代の話を聞くことができ、と ても面白かったし貴重な体験となりました!先生方と距 離が近くなった気がしました。原稿をまとめるのは大変だ ったけれど、1 人でも多くの新総科生に見てもらえると嬉 しいです。ご協力いただいた全ての方に感謝します。あ りがとうございました。

下井田萌

飛翔での活動を通して、文章を推敲しまとめあげる難 しさと楽しさをまなぶことができました。飛翔で活動でき てよかったです。ありがとうございました。

韓文娟

飛翔に参加したのは入学したばかりの時で、まだ大学に慣れていない状態でした。飛翔の活動を通して、先生からたくさんアドバイスをもらえて良かったと思いました。たくさん大学に関する情報を新入生に伝えることができ、やりがいがあります。またこれを通して、多くの初体験がありました。同じ学部の友達と知り合うことができ、いい経験になりました。

世羅芽奈

取材の際、その人の考え方や経験に触れることができ、自分の考え方の枠組みを広げられたように思います。 飛翔に携わることができてよかったです。ありがとうございました。

毛利涼楓

取材や編集作業では貴重な経験ができました。私自 身オープンキャンパスの際に読んだ飛翔が進路の参考 になった経験があるので、今後の総科生に少しでも影響 を与えられたらと思います。ありがとうございました。

梅田千乃

先生方へのインタビューや編集作業など、飛翔の活動をしていなかったら出来なかったであろう、貴重な経験をたくさんさせていただき、活動を通して総科の良さを改めて感じることが出来ました。飛翔に関わることが出来てよかったです。ありがとうございました!

岡田俊介

飛翔の活動を通して、普段中々話すことのできない先生方のお話を聞くことができ、よい経験となりました。総合科学部のことや進路のこと、大学での学びのことなど様々なことが分かりました。ありがとうございました。

細國空

飛翔の活動を通して、いつもの講義とはまた違う形で、 先生方から様々なお話をお聞きすることができ、貴重な 経験となりました。編集作業も、初めての経験でしたが、 楽しくて、とても勉強になりました。ありがとうございまし

川本凜

自分が興味のある分野について研究している先生に、 直接会ってインタビューすることができる貴重な機会を 得ることができました。今後を考えるきっかけにもなり、と ても良い経験ができたと思います。ありがとうございまし た。

稲葉啓斗

飛翔の活動を通して、インタビューや記事の編集を経験できて良かったです。将来につながる活動をできたと思います。飛翔での経験を生かし、今後の大学生活や社会での生活に向けて邁進していきたいです。ありがとうございました。

下野紗羽

受験生向けの飛翔の作成で先輩のインタビューをしま したが、私自身も学べることがたくさんありました。初め ての貴重な経験や初めましての方々との出会いもありと ても楽しかったです。ありがとうございました!

井上智貴

飛翔の活動を通して、多くのことを学ばせていただきました。ほぼ関心が無かった分野だったのですが、先生の話を聞く内にどんどん興味が持てました。自分の視野が広がった気がします。ありがとうございました。

寺尾豪眞

飛翔の活動で貴重な経験をすることができました。先 生方へのインタビューは思った以上に学ぶことがたくさ んありました。今後の進路の参考にもなったと思います。 ありがとうございました。

佐々木茉乃

授業以外で教授と関わる機会を頂けてとても学びに繋がりました。進みたい分野の見識も深まりました。私の活動が自分だけでなく少しでも他の人の学びに貢献出来ていればいいなと思います。

藤井万奈帆

飛翔の活動を通して、授業とはまた違った形で先生に 大学のことを聞いたり、研究のことを聞いたりする貴重な 経験ができましたし、自分自身の視野が広がったなと思 います。関わらせていただいて、ありがとうございまし た!

浪本一光

雑誌の編集に携わるのは人生において初めてだった のですが、体験できて本当に良かったと思います。あり がとうございました。

渡部響人

飛翔の活動では先生方とインタビュー以後もお話しさせて頂く機会を作って頂いたり、みんなで協力して記事を作成する難しさを知れたりと、とても貴重な経験をすることができたと思います。飛翔を読むことでより多くの人が総合科学部に興味を持つきっかけになってくれたら幸いです。

上田有季乃

飛翔の活動を通して、インタビューや編集などの貴重な経験ができました。また、実際に留学をした先輩から直接話を聞くことができ、高校生だけでなく自分自身にとっても今後の参考になりました。ありがとうございました。

飯田ちさき

飛翔の活動を通し、編集作業や先生へのインタビューなど、普段の大学生活ではできない経験ができました。 また、先生との英語のメールのやりとりなど、英語に関わる貴重な体験もできました。 飛翔に携われて本当によかったです!ありがとうございました!

淕降人

I could cooperate with my partner and listen to the wonderful experience of studying abroad form senpai. That was a special experience for me. I really hope everyone enjoys reading it. Thank you very much!

黒田和花

I had an interview with a senior student about studying abroad. It was a very valuable experience and I am glad that I joined HISHO. Thank you very much.

竹田仁実

I conducted an online interview with senior. I really appreciate that I am involved with HISHO and sharing seniors' great experience and valuable advice for many people. I am grateful for everyone's cooperation.

坂田省吾

広報・出版委員(飛翔担当)

昨年から続くCOVID-19渦中の中、編集作業お疲れ様 でした。飛翔編集委員の学生たちが、苦労しながらも頑 張って作り上げた総合科学部広報誌「飛翔」98 号をどう ぞお楽しみ下さい。長坂格先生も巻頭言で書かれていま すように、総合科学部で「違和感と驚きに導かれて」、自 分の目で見て、自分で感じて、自分で考えて将来に向か って下さい。編集委員の皆さんはこの 1 年で取材、編集 の貴重な体験をしました。いろいろな編集作業の中で感 じたことは、苦労と共にその中にある楽しさを見出したこ とと思います。この経験は皆さんの今後の力になります。 今年は初めて国際共創学科(IGS)の卒業生も出る記念す べき年です。総合科学科(IAS)も IGS も一緒になって総合 科学部を推進して下さい。私自身の飛翔への関わりは 今回が最後です。98 号まで長い道のりを見てくることが できたことは幸せでした。2022年2月24日にロシアのプ ーチン大統領によるウクライナ侵攻という暴挙と混沌が 発生し、世界中がウクライナを救おうとしています。多様 性の理解の中で平和な世界を作っていこうとする姿勢が 重要です。総合科学部の学部広報誌もお互いの理解を 深めることで、今後の世界平和に貢献できれば幸いです。 ありがとうございました。

水羽信男

広報・出版委員(飛翔担当)

学生編集委員会のみなさんは立派な雑誌が仕上がり、 ほっと一息でしょうか。とくに幹部委員の 2 年生スタッフ は、29 名もの一年生委員をまとめてゆかねばならず、随 分と大変だったのでは?

僕も広島大学の学部生時代の同人誌から、現在の大学の紀要まで様々な編集作業に従事してきました。そのなかで多くのことを学び、今でも編集というのはとても刺激的です。皆さんが今後とも機会を見つけて、雑誌作りに関わってくださることを願っています。

Maria Grajdian

広報・出版委員(飛翔担当)

It is my first time to be involved with the Hisho project as a supervisor. Reading through students' explanations and teachers' elaborations, I feel a sense of hope for a brighter future arising from the deep chaos and tremendous suffering which surround us at the moment. I am grateful for this opportunity to get to know teachers and students outside the official professional context – this allowed me to gain insights into my own role in impacting the future by increasing my contribution to the present and by learning precious lessons from the individual and collective past. I am looking forward to meaningful cooperation with teachers and students, both vertically and horizontally within the academic environment, while daring pragmatic expectations for a better world for us all.

佐々木和人

広報・出版委員(飛翔担当)

飛翔作成に携わって、普段読んでいるものを「作る」側の立場で体験してみていかがだったでしょうか。普段みなさんが読んでいるものは、雑誌にせよ、新聞にせよ、その向こう側には「作成者」が存在していて、苦労に思考を凝らして作成しています。作る側が何を見てどう感じ、何を、どのように伝えようとしているのか、どういう意図や期待を持っているのか。更に、作成されるに至るまでにはどんな背景や経緯があったのか。飛翔を作成していた自身と置き換えて想像することができるかもしれませんね。今後、ものを読むときにはそういった視点を含めて読んでみると、より幅広いものの見方ができるのではないかと思います。飛翔作成に携わって、それぞれたくさんの体験をしたと思いますが、それを自分の能力として発揮し、今後に活かしてもらいたいと思います。

ありがどう

この度は飛翔 98 号をお読み頂き誠にありがとうございました。

本年度からは年 1 回の刊行に加え、夏のオープンキャンパスに特別号を刊行いたしました。総合科学部の総合科学部生による広報誌、楽しんでご覧いただければ幸いです。また、飛翔公式ウェブマガジンでは、総科でのイベントや先生インタビューなどの記事を随時投稿しておりますので、併せてご覧下さい。より一層多くの人に総科の魅力について伝えて行けたらと思っております。

最後に、取材にご協力してくださった皆様、総合科学部支援室の皆様、そして最後まで 読んでくださった皆様に謹んで御礼申し上げます。

今後も更なる飛躍を目指してまいりますので応援よろしくお願い致します。

飛翔幹部一同



総合科学部報『飛翔』 令和3年度3月発行 通巻98号 広島大学総合科学部広報・出版委員会 〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1 TEL 082-424-6315



ご協力くださった皆さん 本当にありがとうございました。 飛翔編集員一同